

平成27年10月 東京地区百貨店売上高概況

平成27年11月19日

I. 概況

1. 売上高総額	1,323億円余
2. 前年同月比	7.4% (7か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭6.4%(89.8%) : 非店頭16.4%(10.2%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成27年9月対比±0店)
5. 総店舗面積	856,710㎡ (前年同月比:0.2%)
6. 総従業員数	18,900人 (前年同月比:-0.2%)
7. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	3-5月 1.1%、4-6月 11.5%、5-7月 8.1%、 6-8月 6.4%、7-9月 6.1%、8-10月 6.1%

[参考] 平成26年10月の売上高増減率は-0.1%

【10月売上の特徴】

- (1) 10月は全般的に好天に恵まれ、土曜日1日増や国慶節を中心とした訪日外国人の来日増などを受けて入店客数が1.9%増。総額は7.4%増で7か月連続プラスとなった。
- (2) 商品別では、主要5品目が全て前年を確保。身のまわり品(+9.8%)、雑貨(+21.0%)、家庭用品(+8.2%)が7か月連続で前年を上回り、衣料品(+4.5%)、食料品(+1.8%)も健闘した。
- (3) 細分類では、衣料品(紳士服、婦人服、子供服、その他衣料品)と、食料品(生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品)が6か月ぶりに揃って前年を確保したことが特筆される。また、化粧品(+36.6%)、美術・宝飾・貴金属(+22.5%)が7か月連続で2桁増と高い伸びを記録している。
- (4) 個別商材では月前半の冷え込みを背景に、紳士服はスーツ、ジャケットが好調な一方、婦人服はジャケット、コーディガン、ニット、パンツのほかマフラー、手袋など防寒小物が動いている。また、高級時計は引き続き好調が続いており女性物の動きが注目される。なお、国内外旅行者増などからスーツケースに動きが見られるほか、ウォーキングシューズやランニングシューズ、スポーツ・ゴルフ用品など趣味と健康を対象とする商品も堅調。
- (5) 11月は気温が高めに推移しており、重衣料を中心とする衣料品が伸び悩んでいるものの、16日現在の総額は約1%減で推移。月後半のギフト受注や、冷え込みに伴う冬物商材の動向に期待がかかる。なお、先行予約のおせち、クリスマスケーキは好調な滑り出しを見せているとの報告が入っている。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)
①増加した:10店、②変化なし:5店、③減少した:3店
- (3) 10月歳時記(秋物商戦、秋の行楽)の売上(同上/有効回答数13店舗)
①増加した:4店、②変化なし:9店、③減少した:0店

東京地区百貨店 売上高速報 2015年10月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	132,377,265	100.0	7.4
紳士服・洋品	13,599,916	10.3	3.9
婦人服・洋品	28,268,761	21.4	3.8
子供服・洋品	2,540,379	1.9	12.4
その他衣料品	2,660,615	2.0	8.3
衣 料 品	47,069,671	35.6	4.5
身のまわり品	18,960,091	14.3	9.8
化粧品	10,221,263	7.7	36.6
美術・宝飾・貴金属	8,935,967	6.8	22.5
その他雑貨	5,588,855	4.2	-1.4
雑 貨	24,746,085	18.7	21.0
家 具	1,986,664	1.5	23.9
家 電	939,418	0.7	-14.8
その他家庭用品	4,331,292	3.3	8.2
家 庭 用 品	7,257,374	5.5	8.2
生 鮮 食 品	4,533,353	3.4	1.2
菓 子	7,103,243	5.4	3.3
惣 菜	7,111,862	5.4	2.2
その他食料品	7,863,821	5.9	0.5
食 料 品	26,612,279	20.1	1.8
食 堂 喫 茶	3,097,781	2.3	3.9
サ ー ビ ス	2,124,146	1.6	-9.1
そ の 他	2,509,838	1.9	7.5

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	2,268,463 千円	-0.4
従 業 員 数	18,900 人	-0.2
店 舗 面 積	856,710 m ²	0.2

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、5か月ぶりに全品目がプラスとなった。身のまわり品、雑貨、家庭用品が7か月連続のプラスとなり、雑貨は全国同様7か月連続で二桁プラスとなった。その他の品目は、紳士服・洋品、化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他家庭用品、惣菜が7か月連続、子供服・洋品が4か月連続、家具、生鮮食品が3か月連続、菓子、その他食料品が2か月連続のプラスとなった。また、婦人服・洋品、その他衣料品が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	7.4	—	7か月連続プラス
紳士服・洋品	3.9	0.4	7か月連続プラス
婦人服・洋品	3.8	0.8	2か月ぶりプラス
子供服・洋品	12.4	0.2	4か月連続プラス
その他衣料品	8.3	0.2	2か月ぶりプラス
衣料品	4.5	1.6	2か月ぶりプラス
身のまわり品	9.8	1.4	7か月連続プラス
化粧品	36.6	2.2	7か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	22.5	1.3	7か月連続プラス*
その他雑貨	-1.4	-0.1	3か月連続マイナス*
雑貨	21.0	3.5	7か月連続プラス
家具	23.9	0.3	3か月連続プラス
家電	-14.8	-0.1	2か月連続マイナス
その他家庭用品	8.2	0.3	7か月連続プラス
家庭用品	8.2	0.4	7か月連続プラス
生鮮食品	1.2	0.0	3か月連続プラス*
菓子	3.3	0.2	2か月連続プラス*
惣菜	2.2	0.1	7か月連続プラス*
その他食料品	0.5	0.0	2か月連続プラス*
食料品	1.8	0.4	2か月連続プラス
食堂喫茶	3.9	0.1	2か月連続プラス
サービス	-9.1	-0.2	4か月連続マイナス
その他	7.5	0.1	3か月連続プラス
商品券	-0.4	0.0	8か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>